

新しい公園のデザイン・ワークショップ

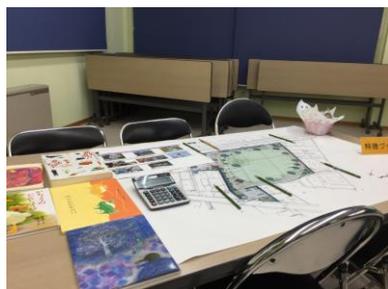
都市計画コンサルタントさんのお手伝いで、公園のデザイン・ワークショップのファシリテーターを務めました。新しいカタチのワークショップとなりました。

☆今までのワークショップ

今までに何度か、公園のデザイン・ワークショップでテーブルのファシリテーターとしてお手伝いをさせていただきました。

おおよそ、以下のような進行でした。①グループに分かれてグループごとに「こんな公園がいいな」というデザインを考えます。②毎回、最後には各グループの発表を行い、その回は終了します。③次の回では、コンサルタントさんの考えてきた全体をまとめた案をもとに、グループごとに次のステップに進みます。または、グループごとに次のステップに進みます。④最後の回で提示されるのは、全部のグループのいいところを合わせたデザインです。

コンセプトからゾーニングまで異なるアイデアがグループの数だけ出来上がります。これらを設計の担当者の方が、一つの案にまとめるというのはたいへんな作業ではないのかな？と想像していました。



☆一つにまとめるプロセスを共有するワークショップ

そこで、毎回、参加したみなさんの前でまとめていくということをしました。ワールドカフェとハーベストの力を借りることにしました。

すると、参加したみなさんは納得するデザインとなり、設計する側も一つにまとめたものを具体化させるということになるので、デザインに集中できたそうです。

参加した市民の方々も毎回、そのような進め方をしていると、だんだんと積極的にハーベストに参加してくださるようになっていきました。

予算についても、市民の方々の意見や提案と、設計者でなければできない提案をお互いに話し合いながら大枠を決めることができました。

参加者のみなさん、コンサルタントさんともに満足度の高いデザインができました。

☆今回、私のわがままを聞いて、このスタイルで4回のワークショップを進行することを許してくださったコンサルタントさま、市役所の方には感謝しております。また、ワークショップに足を運んで、毎回何度も移動しながら進めるという方法にお付き合いくださった参加者のみなさまにも、感謝いたしております。